

地域からの就労支援に向けて

あなたの「働く」を形にするために

～就労支援の先進地 豊中市の取り組みから国の「生活支援戦略」をも考える～

「就労支援」は、職業紹介だけでは終わりません。今、求人票を頼りに面接などの就職活動を「一人で進めるのが難しい」「1人ではうまくいかない」といった、何か支援を必要とする人が増えています。能力や意欲はあるのだけれど、「求人票の事業所でうまくやっていけるだろうか」「もう少し勤務時間が短いとやってみたいが」「業務は大丈夫だが、〇〇の障害があっても働けるかな」。この仕事したいが、「訓練しながら働けるかな」などなど。通常の労働市場に「一人で出ていくのは難しい」「ガンバてるんだがうまくいかない」、そんな人たちを応援するのが「就労支援」です。支援はさまざま、職業能力、面接や履歴書作成の技術、求人のアレンジとマッチング、障害や病と折り合いをつけながらの就労プランの検討、家族の問題・・・、従来の狭い職業相談にはおさまりません。背景には経済状況や業務・職務の変化、そして大震災による大きな変動などが重なって、雇用のミスマッチだけでなく、新しい仕事づくりや多様な「働き方」など、問題は広がっています。

仙台市と一般社団法人パーソナルサポートセンターは当法人の無料職業紹介事業を活用し、就労支援相談センター「わっくわあく」を開設。さまざまな困難を抱えながら、自分に合った「働きたい」を実現しようと頑張っている皆さんを応援しています。就労までの道のりが遠いと思われる方への就労支援も含め、現在まで27名（平成24年10月12日現在）の方を就労につなぐことができました。この経験をさらに伸ばして、地域からの就労支援を皆さんと育てていきたいと思えます。

今回、当法人の官民協働事業の第3弾として、就労支援の取り組みをされている大阪府豊中市での取り組みをヒントに、仙台地域での就労支援のあり方を探ってみます。関係各位には万障繰り合わせのうえ、参加賜れば幸いです。

日	時	平成24年10月23日（火）9時30分～11時30分
会	場	仙台役所本庁舎2階 第1委員会室
講	師	西岡正次（豊中市市民協働部理事兼豊中市パーソナルサポートセンター長）
テ	マ	「地域からの就労支援にむけて あなたの「働く」を形にするために」
参	加	無 料（但し、資料等の準備があるので事前申込みが必要）
主	催	特定非営利活動法人ワンファミリー仙台
協	力	一般社団法人パーソナルサポートセンター
問	合	特定非営利活動法人ワンファミリー仙台 022-398-9854（平井）
申	込	info@onefamily-sendai.jp か022-398-9856（FAX）にて申込みください。締め切りは10月21日（日）12時とさせていただきます。

（課題点）☆「出口」まで距離のある（支援困難）ケースのサポート ☆相談・支援から「出口」までサポート ☆「中間的就労」など、さまざまな「働き方」の試み ☆制度・社会資源をつなぐケア（ケース）マネジメント ☆「出口」開発（企業支援、社会的企業等の促進策ほか） ☆地域における民間と自治体の連携 ☆自治体・地域における「雇用と福祉」の連携など